

釜石市中心市街地東部地区商業推進協議会開催結果

日 時：平成 24 年 7 月 27 日（金）午前 9：00～午前 10：30

場 所：釜石市役所第 4 会議室

出席者：裏面のとおり

次第

- 1．市長あいさつ
- 2．議事
 - (1)議案第 1 号 協議会役員の改選について
 - (2)報告第 1 号 商業拠点整備に係る進捗状況について
- 3．今後のスケジュールについて
 - (1)復興事業のスケジュールについて
 - (2)協議会及び検討部会のスケジュールについて

結 果（要訳）

- ・議案 1 協議会役員の改選について
小田島圭司氏を副会長に決定していたところであるが、大町商店街振興組合の理事長が小田島圭司から新里耕司氏に交代したことから、改めて副会長の選出を行ったもの。
副会長選出のあたっては事務局一任により新里耕司氏を選出した。
- ・報告 2 商業拠点整備に係る進捗状況について
 - (1)魚菜市场が F P 1 と F P 3 への 2 つの配置案で出ていることに関して次のとおりとした。
F P 1 への魚菜市场（案）については、魚菜市场として整備するのではなく、商業集積の中で商業機能(店舗)として入れることとした。
F P 3 への魚菜市场（案）の設置については、今後、F P 3 への魚河岸のにぎわいを検討する協議会を設置していくこととしており、商業推進協議会で出された意見も考慮しながら、F P 3 の協議会の中で詳細を詰めていくこととした。
 - (2)その他の検討部会の議論の中身については特に意見はなく、現在の検討をさらに詳細に詰めていくこととした。

第2回釜石市中心市街地東部地区商業推進協議会

【出席者名簿】

	所 属	職 名	氏 名
1	釜石商工会議所	会頭	山 崎 長 也
2	釜石市商店会連合会	副会長	佐々木 雅 昭
3	大渡町商店街振興組合	理事長	小笠原 順 一
4	大町商店街振興組合	理事長	新 里 耕 司
5	只越町商店街振興組合	理事長	片 倉 静 祐
6	浜町1丁目商店会	会長	加 藤 裕 二(欠席)
7	釜石東部地区商店街グループ	代表	齋 藤 裕 基
8	岩手県	沿岸広域振興局経営企画部長	熊 谷 正 和 代理：産業振興課長 葛尾淳哉
9	釜石市	市長	野 田 武 則
10	〃	総務企画部長	山 崎 秀 樹
11	〃	産業振興部長	小 林 俊 輔

〔事務局〕

釜石市復興推進本部都市整備推進室	室 長	小 友 光 晴
	次 長	戸 塚 勇 孝
	係 長	川 崎 俊 之
リーディング事業推進室	室 長	平 松 福 壽
	主 任	佐々木 護
総務企画部総合政策課	課 長	正 木 隆 司
産業振興部商工労政課	課 長	吉 田 均
	課長補佐	菊 池 俊 彦
	主 任	小笠原 弘 明

〔その他出席者〕

岩手県沿岸広域振興局経営企画部産業振興課	主 査	北 栃 玲 子
釜石商工会議所振興課	係 長	土 橋 一 志
	主 事	山 崎 恵 介

【協議会結果】詳細

議事

(1)議案1 協議会役員の改選について

小田島圭司氏を副会長に決定していたところであるが、大町商店街振興組合の理事長が小田島圭司から新里耕司氏に交代したことから、改めて副会長の選出を行ったもの。

副会長選出のあたっては事務局一任により新里耕司氏を選出した。

(2)報告1 商業拠点整備に係る進捗状況について

- ・平松室長より、資料1について説明
- ・吉田課長より、資料2について説明

山崎会長 検討部会の状況報告では、魚菜市场について「大町」と「魚河岸」の2つの案が出て、どちらにという答えが出なかったようだが、この協議会で一つに絞りたいと思う、みなさんの意見を聞きたい

齋藤委員 鈴子のサンフィッシュとの整合性は？

魚菜市场というと、宮古のイメージで魚と山の幸というイメージだがそういうものか？

吉田課長 検討部会では魚菜市场の詳しい中身まで突っ込んだ話はなかった。

片倉委員 魚河岸は定着した市で、商業的な要素を考えた場合にはまち中にも必要か。

山崎部長 魚河岸のにぎわいということで、市の取り組みを説明させていただく。

震災前から「港を感じる施設整備」として、魚の魅力を出しながら「はまゆり」の発着所を含めて考えてきていた。

震災後については、浜町を加えたにぎわいを構築するため新たに協議会を設けて今後この協議会で引き続き検討していくものとしている。

小笠原委員 魚菜市场は魚河岸に集約するのが良い。

魚河岸開発の際には、地元浜町の事業者の入居者スペースを確保してもらいたい。

新里副会長 まちづくりの広がりを持たせるため、観光要素を考えれば魚河岸のほうが良い。

片倉委員 商業集積地に商業集積に特化した魚菜市场を入れることは良いか。

齋藤委員 意見は割れると思う。

にぎわいをどこに創るかの意見は様々あることが当然だと思うが、今までの歴史と、これからのギャップが出てくると思うが、コンパクトにしていく必要がある。

魚菜市场も商業ということで考えれば、まち中に集約することも考えられる。

佐々木委員 ショッピングセンターの入口の説明がもう少し欲しい。

平松室長 出入口は一か所ではないが、第一街区（大町側）に向けて正面入り口を作ること
で協議している。

入口は一つではないので中番庫側にもできる予定。

山崎会長 高低差はどうするのか？

平松室長 スロープ状にしてつなぐなどが考えられる。

山崎会長 嵩上げは？

川崎係長 今現在大町で最大 50 cm程度と考えているが、今後、測量結果をもとにより詳細
にお示しする。

佐々木委員 出入口がいろいろできるようだが、いずれにしても既存商業に配慮した形で
進めてもらいたい。

葛尾課長 市場的にいえばまち中でもよい。

観光的な意味合いでは魚河岸にあったほうが良い。

市長 震災前から、魚河岸のにぎわいは検討してきたところ。

魚菜市場の考え方はいろいろあると思うが、サンフィッシュと同じ機能となら
ないように、魚河岸は主に「食 食べる」ことがメインで、「売る」ということ
はあまり考えていない。

魚河岸は観光エリアで考えている。

大町は日常の買い物エリアで、当然魚を売るお店があっても良い。

しかし、大町で意見が出ている魚菜市场がどういうものかということもあるが、
市がそこに市場を整備することはない。

グリーンベルトの使い方は、ショッピングセンターから魚河岸まで歩いてもら
う回遊ルートとして活用することが考えられる。

また、桜などの植樹により魅力づくりを行い、セグウェイや電動自転車を活用
して、津波防御だけではなく賑わいの創出の一つとして利用したい。

浜町は市営ビル前で 8 mかさ上げになり、これによって、只越以西と分断され
る可能性もあるが、魚河岸のにぎわい拠点があることで人を呼び込める。

さらに、「オカムラ」の建物も活用できる。中には柱もなくスポーツもできる。
集会施設としても使えるが、2階を使うことになれば入口をつけないといけな
い。青葉通り側から 2階に入れる入口を付けるとよいか・・・

商業集積地には恒常的に人が集まる。交流人口の増加を考えると安全性もしっ
かりと検討する必要がある。

イオン事態が避難ビルの役割を果たすが、ここから次に避難するためには仙台
駅のように歩道橋で建物をつなぐことや、建物自体をつないでいくことが必要。
車が込み合う中では、安全に避難するには上を越していくことを考えないとい
けない。

魚菜市場のことは、今後の検討の中ではフィッシャーマンズワーフとしておき
たい。

まちなかで考えると、市がまちなかに市場を整備することは考えていないが、民間でやるのであれば否定はしない。商業集積の中でお店としてあるのであれば良いのではないか。

山崎会長 市長の話を聞いて改めて皆さんはどう考えるか？

片倉委員 商業集積の中にお店として入るのであれば、魚河岸には定着したものを整備するのが良い。

フロントプロジェクト1とフロントプロジェクト3の間が中抜けしているが、ここをどうつなぐか、この商業をどうするかWGではここをもっと考えてもらいたい。

齋藤委員 ショッピングセンターが出店することで、地元の商いは差別化を図っていかなければいけない。こういう考え方から、魚菜市场というアイデアが出てきたと思う。

集積エリア以外の商業のあり方も大事、買物難民的な方が発生しないようにしていけないといけない。

山崎会長 まちなかの賑わいは必要であるため、魚菜市场を整備するということではなく、商業集積の中で商業機能（店舗）として入れていくことで良いか。

委員から異議は出なかった

山崎会長 文化会館はどのような状況か？

市長 現状の建物は使えない。

災害復旧は基本的に現地で復旧が原則である。

しかし、現在、別に移して建設できるか国と協議中。

山崎会長 各事業ともに、もっとスピード感をもって進めていってほしい。

今後のスケジュールについて

- ・協議会及び検討部会のスケジュールについて

吉田課長より 資料3について説明

- ・復興事業のスケジュールについて

川崎係長より パワーポイントにより説明（資料配布なし）